

郵政宿舎跡地が保育園になります

日本郵便が直営で70人規模の認可保育所を開設します



今年8月10日、日本郵便の説明を聞く森とおる(中央)と地域住民

【これまでの森とおるの主な働きと経緯】

◆2011年

宿舎住民の引っ越し終了

森が決算特別委員会で土地購入を提案しました。それに対し区は「十分検討した上で答えを出す」と答弁。森はそれから議会で取り上げてきました。

◆2015年

宿舎の解体工事

◆2016年4月

森は地域住民と、日本郵便に対し、区への土地売却を要請したところ、「自ら不動産活用するか、一般競争入札で売却するか決まっていない。売却になったとしても区を優先しない」と回答。

◆2016年7月

区が日本郵便に対し、「土地を購入して保育園の用地としたい」と打診したが、日本郵便は、「自ら不動産活用するか、売却するか決まっていない。売却になれば一般競争入札なので区に優先権はない」と回答。

◆2016年10月

森は地域住民と、日本郵便に対し、この年2度目の要請をしました。日本郵便は、「不動産活用せずに、売却の方向に進みつつある」と売却方針が強まったことを示唆。また、「売却になったとしても区に優先権はない」と、これまで同様の回答。

◆2016年12月

森は日本郵便に改めて状況を確認しました。すると日本郵便は、「自ら不動産活用し、認可保育所を開設することにした」と、方針転換を表明し、「区と開設の協議に入った」と答えました。

◆2017年8月

森は地域住民と、日本郵便から説明を受けました。「木造平屋建て70人規模の認可保育所を2019年4月開設予定で計画しており、運営は保育専門業者に委託する予定である」「近隣への住民説明会は今年の秋頃に開催する予定」とのことでした。

●これまでの取り組み

上池袋二丁目の郵政宿舎跡地は、所有者の日本郵便が売却の予定で、しかも一般競争入札なので豊島区よりも高い金額を出せる不動産業者に売却するおそれがありました。

私は日本郵便に対し、区に優先して売却するよう強く求めてきました。区有地であればこそ防災公園、保育園、高齢者施設、集会所など地域住民に最も有効な施設になるからです。それを受け、区も購入の意思を示し、財源も私の提

案通りに居住環境総合整備事業を活用することになりました。

●日本郵便からの説明

ところが区は購入に消極的で、強く売却を求めようとしなかったのです。

今年7月、日本郵便から、

「郵政宿舎跡地について活用方法が決定したので説明をしたい」と連絡がありました。

翌8月、私は地域住民の方々と一緒に、参議院会館において、日本郵便管財室室長と不動産部長ら4名から説明を受けました。

●日本郵便が直営で認可保育所を開設

説明によると、「跡地は売却せずに自己所有のまま保育園を建設し、建物を保育事業者に貸して直営で認可保育所にすることが決定した」ということでした。

建物は木造平屋建て。子どもにやさしい自然の素材で、しかも近隣への配慮がなされています。工事は来年4月頃に始まります。

●みなさんの要望を受けて

日本郵便は、土地の売却

方針から、保育園の開設へと大きく方向転換しました。これは地域住民のみならずと一緒に行動を起こした結果です。「この土地をマンション等にしてはならない。地域の為に福祉施設を実現したい」という熱意と力を合わせることで、日本郵便を突き動かし、考えを改めさせることになりました。



2017年9月26日発行
日本共産党 区議会議員
森とおる

区役所控室 3981-1429
自宅 6912-0135

